

1. 下野市地域公共交通網形成計画の基本方針

下野市の現況からみた課題

公共交通の現況からみた課題

各種調査結果からみた課題

実施した各種調査	各種調査等を通じて把握した下野市の現状及び課題
上位計画/関連計画と位置付け	市街地の良好な都市環境の形成のため、立地適正化計画と連携した移動環境の整備を図る必要がある。
住民アンケート調査	高齢者が公共交通を利用して、買い物や通院といった日常生活を送れる環境を整える必要がある。
公共交通の接続状況確認結果	JR利用の通勤・通学者のために、バスとの接続や乗換拠点の機能強化を図る必要がある。
公共交通の運行状況確認結果	鉄道によるアクセスの良好さを活かすために、駅からの二次交通として利用できる移動手段を充実させる必要がある。
下野市施設分布、住民アンケート調査、手段分担・自動車保有状況確認結果	施設利用者の移動ニーズを把握し、それらを満たす公共交通の在り方を検討する必要がある。
	高齢化に向けて自動車から公共交通へと転換を促す施策等が必要である。
公共交通の整備状況、運行状況確認結果	デマンドバスのカバーエリアが広いため、利便性向上につながるよう運行形態を見直す必要がある。
	鉄道に接続する夜間の交通の確保が必要である。
住民アンケート結果	デマンドバスの利用促進につながる施策等が必要である
事業者ヒアリング結果	運転手不足を見据えた路線バス運行の効率化が必要である。
公共交通の施設等整備状況、公共交通に関する情報提供結果	待合環境や駅広場等の駅の周辺のバリアフリー化も推進していく必要がある。
	パソコンやスマホを持たない高齢者などにもわかりやすい情報提供方法を検討する必要がある。
人口・高齢化等の推移、関連計画	高齢化の進行や低炭素まちづくり等を見据え、公共交通を利用して、日常生活を送れる環境を整える必要がある。
住民アンケート調査結果	路線バス、デマンドバスの利用方法等の周知を図り、利用を促進につなげる必要がある。
路線バス利用実態調査	需要と供給量のバランスを把握し、バス運行便数の適正化検討していく必要がある。
住民アンケート調査結果	広域連携バスや他市のコミュニティバスの周知も行き、適切な移動を確保してもらう必要がある。
住民アンケート調査結果	メインの利用者層である高齢者にもわかりやすく、また利用しやすい予約システムを検討する必要がある
通勤者アンケート調査結果	路線バス、広域連携バス、鉄道、デマンドバス、タクシー等を組み合わせた、柔軟な交通行動へと転換を促す必要がある。
路線バス利用実態調査	石橋駅からの接続交通として、バス利用の積極的な利用促進を図る必要がある。

基本方針	目標
基本方針① 日常的な移動の利便性を高める公共交通サービス	目標1 公共交通の利用環境の向上 目標2 公共交通利用促進に資するわかりやすい情報提供
基本方針② コンパクトシティのまちづくりのためのネットワーク形成	目標3 居住エリアと拠点施設等を結ぶネットワークの形成
基本方針③ 持続可能な公共交通サービスの提供	目標4 公共交通の利用率向上 目標5 既存公共交通網の維持・改善
基本方針④ 広域的な人の流れを支える公共交通サービスの提供	目標6 広域移動ネットワークの形成

1. 下野市地域公共交通網形成計画の基本方針

目指すべき公共交通の将来像

市民、交通事業者、行政等が一体となり、住みやすさの向上に寄与する快適で利便性の高い公共交通サービスの実現

基本方針

基本方針①

日常的な移動の利便性を高める公共交通サービス

高齢化を見据えて、快適で誰もが利用しやすい公共交通サービスの確保のために、利用環境の向上やわかりやすい情報提供を目指します。

基本方針②

コンパクトシティのまちづくりのためのネットワーク形成

立地適正化計画と連携し、居住誘導区域への移住や定住化を促せるような交通網の形成を目指します。

基本方針③

持続可能な公共交通サービスの提供

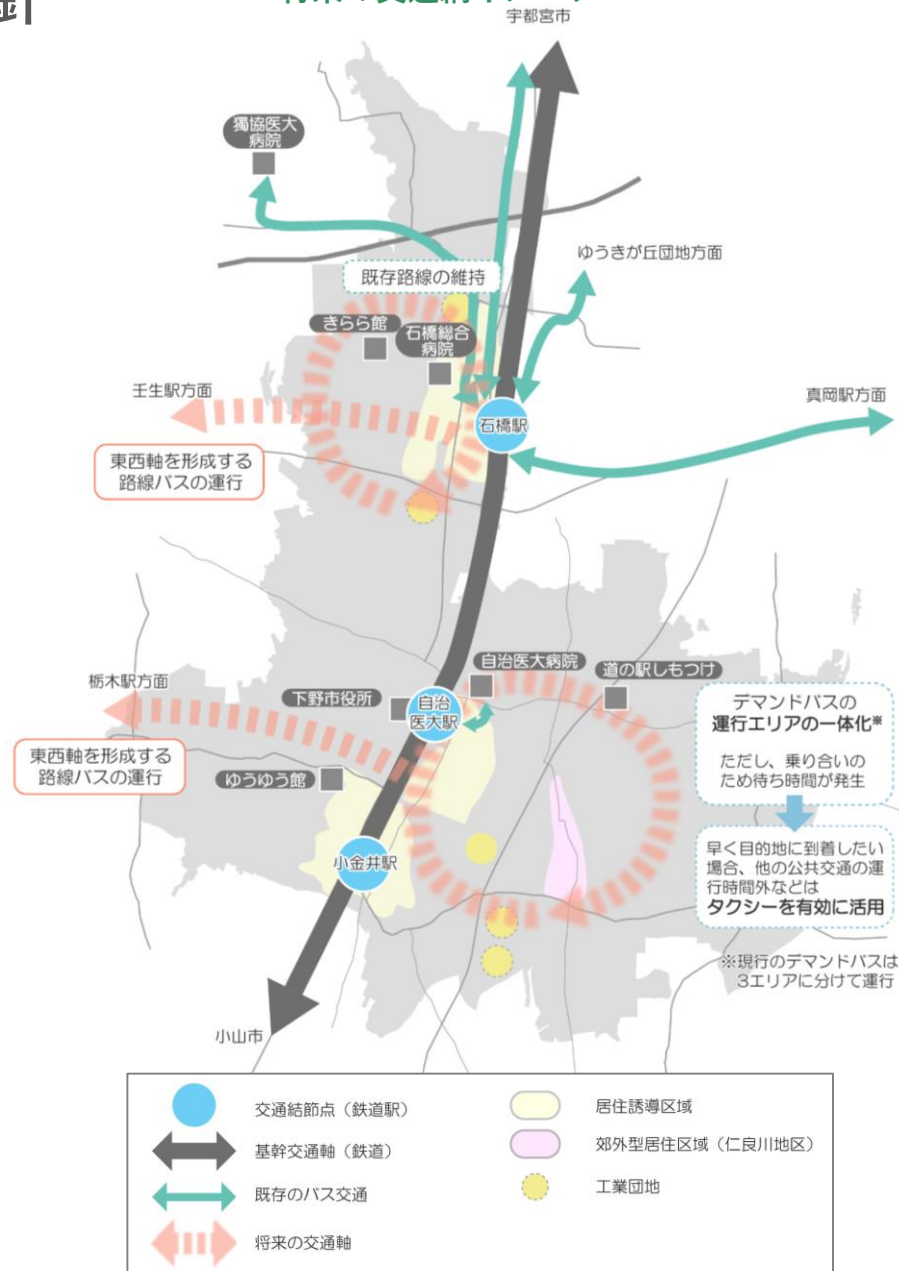
将来にわたり提供が可能となるよう、適正な公共交通サービスの提供、またそのために公共交通の利用の促進を図ります。

基本方針④

広域的な人の流れを支える公共交通サービスの提供

ニーズに対応した広域的な移動手段を近隣市町と連携して確保します。また、鉄道の利便性を活かして、鉄道と様々な公共交通との連携を図り、交流人口の増加につなげます。

将来の交通網イメージ



2. 目標を達成するために実施する施策（案）

基本方針①

日常的な移動の利便性を高める公共交通サービス

- 高齢化を見据えて、快適で利用しやすい公共交通サービスの確保を目指します。

目標 1 公共交通の利用環境の向上

施策 1 交通拠点における利用環境の整備

事業イメージ（案）

- 交通拠点におけるバリアフリー化
- バス停の待合環境の充実

指標（案）

- バス停のベンチ設置数、上屋設置数

施策 2 デマンドバスの利用しやすさの向上

事業イメージ（案）

- ICTやAIを活用したデマンドバスの予約システムや支払方法の導入検討
- 病院等と連携したデマンドバス利用環境の向上（予約の代行、院内待合、デマンドバス到着時の声掛け等）

指標（案）

- デマンドバス登録者・利用者

目標 2 公共交通利用促進に資するわかりやすい情報提供

施策 1 公共交通に関するわかりやすい情報提供ツールの導入と、情報提供 機会の創出

事業イメージ（案）

- 公共交通の利用方法や時刻表を掲載した公共交通マップの作成と配布
- 自治医大駅、自治医大病院、石橋駅などにバスロケーションシステムの導入
※スマートバス停（デジタルサイネージ等）の導入検討
- 地域ふれあいサロン等でのデマンドバス利用説明会の実施

指標（案）

- 公共交通マップ配布箇所数
- バスロケーションシステム導入箇所数
- 説明会実施回数

2. 目標を達成するために実施する施策（案）

基本方針②

コンパクトシティのまちづくりのためのネットワーク形成

- 立地適正化計画と連携し、居住誘導区域への移住や定住化を促せるような交通網の形成を目指します。

目標 3

居住エリアと拠点施設等を結ぶネットワークの形成

施策 1

地域間および地域内の交通網整備

事業イメージ（案）

- デマンドバスの運行エリアの一体化
- 基幹となる鉄道交通と、地域内交通（路線バスやデマンドバス等）とのシームレス化
- 仁良川地区を含む居住エリアと拠点施設等を結ぶ循環型路線の検討
- 他の公共交通のカバーできない範囲、時間帯のタクシー活用
- 自動運転バスなど新技術の導入にむけた検討

指標（案）

- 居住誘導区域および郊外型居住区域の人口密度

2. 目標を達成するために実施する施策（案）

基本方針③

持続可能な公共交通サービスの提供

- 将来にわたり提供が可能となるよう、地域の需要に応じた適正な公共交通サービスの提供、またそのために公共交通の利用の促進を図ります。

目標4 公共交通の利用率向上

施策1 公共交通の利用に対する意識醸成

事業イメージ（案）

- モビリティ・マネジメントの推進
- エコ通勤デーの設定

指標（案）

- 公共交通利用促進のためのMMの実施回数
- エコ通勤デー実施企業数

施策2 公共交通の利用促進

事業イメージ（案）

- 免許返納者支援制度の充実や周知
- デマンドバスの回数券制度の導入
- デマンドバスと鉄道の乗り継ぎ利用者への乗継割引制度の導入
- 工業団地への通勤時間帯バスの導入検討

指標（案）

- 公共交通の交通分担率
- バス利用者数
- デマンドバス登録者・利用者数

目標5 既存公共交通網の維持・改善

施策1 地域の需要に応じた公共交通サービスの提供

事業イメージ（案）

- 利用実態を踏まえた運行ダイヤ調整
- デマンドバスの車体の小型化の検討
- 関係機関による継続的な協議
- 人材確保の取り組み
- 担い手不足解消に向けた自動運転バスなど新技術の導入検討

指標（案）

- 1便当たりバス利用者数
- 関係機関の協議回数

2. 目標を達成するために実施する施策（案）

基本方針④

広域的な人の流れを支える公共交通サービスの提供

- ニーズに対応した広域的な移動手段を近隣市町と連携して確保し、交流人口の増加にもつながることを目指します。

目標 6

広域移動ネットワークの形成

施策 1

広域的移動の利便性を向上させる取り組み

事業イメージ（案）

- 広域連携バス運行に関する継続的な検討と利用促進
- 東西軸を形成する新たな広域路線の運行検討
- 鉄道、路線バス、デマンドバス、タクシー等あらゆる交通モードの連携促進（接続時間の調整、MaaSの概念を取り入れたサービス提供 等）
- 駅からの二次交通として利用できるシェアサイクル導入の検討

指標（案）

- 広域連携バス利用者数の増加
- JRとバスの接続時間
- 交流人口の増加